

令和元年度 慢性腎臓病(CKD)診療連携構築 モデル事業 報告

神奈川県健康医療局保健医療部がん・疾病対策課

神奈川県における慢性腎臓病（CKD）対策のこれまでの取り組み①

1. 県民向け普及啓発

慢性腎臓病（CKD）の予防、重症化防止の知識を県民に普及啓発することを目的として、医療講演会及び相談会を特定非営利活動法人神奈川県腎友会に委託し、年度内に2回開催している。

2. 腎疾患対策医療従事者向け研修事業

慢性腎臓病（CKD）の予防や重症化防止、透析導入の防止を目的として、特定非営利活動法人日本腎臓病協会との共同で、医療従事者向け研修会を年度内に2回開催している。

3. 県民向けリーフレットの作成

広く慢性腎臓病（CKD）の普及啓発を目的として、県民向けリーフレットを作成、配布している。

※ かかりつけ医向けリーフレットと交互に、隔年で作成している。

神奈川県における慢性腎臓病（CKD）対策のこれまでの取組み②

4. かかりつけ医向けリーフレットの作成

かかりつけ医に対して、腎臓専門医への紹介の基準、糖尿病や高血圧等の患者に対する腎機能低下の予防方法、腎機能に影響する薬などについて啓発を行うため、かかりつけ医向けリーフレットを作成、配布している。

※ 県民向けリーフレットと交互に、隔年で作成している。

5. その他の取組み

- 慢性腎臓病（CKD）についての県HPでの広報
- 県の広報誌での広報
- ラジオでの広報
- 製薬会社との包括連携協定の締結
- 民間講演会等の後援実施

神奈川県における慢性腎臓病（CKD）対策のこれまでの取り組み③

神奈川県慢性腎臓病（CKD）対策連絡協議会の開催

1. 趣旨

慢性腎臓病（CKD）について、広く正しい知識の普及に努め、予防、重症化の防止を図ることを目的として、平成24年度に神奈川県慢性腎臓病（CKD）対策連絡協議会を設置し、毎年1回開催している。

2. 構成員（令和2年3月現在）

- 腎臓専門医 3名
- 県医師会から選出 1名
- 県薬剤師会から選出 1名
- 県栄養士会から選出 1名
- 政令市（横浜市、川崎市、相模原市）から選出 各市1名
- 中核市（横須賀市）から選出 1名
- 都市衛生協議会から選出 1名
- 町村保健衛生連絡協議会から選出 1名
- 保健福祉事務所長会から選出 1名
- 患者会から選出 1名

神奈川県慢性腎臓病（CKD）診療連携構築協議会の設置

1. 趣旨

平成30年7月に取りまとめられた、腎疾患対策検討会報告書の内容を受けて、かかりつけ医から腎臓専門医への診療連携による慢性腎臓病（CKD）の診療連携体制を構築するために課題抽出等や全体方針、役割分担等を協議する会議体「神奈川県慢性腎臓病（CKD）診療連携構築協議会」を設置した。

2. 協議会開催方針

国のモデル事業における実施案では、令和3年度より診療連携体制の好事例を全国的に横展開し、本格的な取組みを進めることが想定されていることから、本協議会は令和2年度までの限定的な会議体として設置した。開催回数は全2～3回を予定。

神奈川県における慢性腎臓病（CKD）診療連携構築モデル事業の取組み②

3. 構成員

- 腎臓専門医 3名
- 県医師会から選出 2名
- 県薬剤師会から選出 1名
- 県栄養士会から選出 1名
- 県看護協会から選出 1名
- 医療保険者（国保）から選出 3名
- 医療保険者（協会けんぽ）から選出 1名
- 医療保険者（健保連）から選出 1名
- 患者会から選出 1名

4. 第1回目開催の延期

本協議会の第1回目開催を、令和2年3月に予定していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を鑑み、本協議会の開催は延期した。